

戦国時代のスーパー・エキセントリック
SESSON EXHIBITION

雪村

平成14年4月2日(火)～5月12日(日)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
[4月8日(月)、15日(月)、22日(月)、30日(火)、5月7日(火)]

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入場料：一般300円(240円) 小中学生100円(80円)

会期中展示替えを行います。(前期4月2日～21日、後期4月23日～5月12日)

※()内は10名以上の団体料金

※65歳以上の方および障害者の方は無料/毎週土曜日は小中学生無料

主催=渋谷区立松濤美術館 協力=日本航空 企画協力=浅野研究所

講演会：4月20日(土) 午後2時より 対談「雪村の夢・仙人の夢」

講師…南 伸坊(イラストレーター) VS 山下裕二(明治学院大学教授)

渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL03-3465-9421

JR渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

印刷(部分)大和文庫印刷



戦国時代のスーパー・エキセントリック SESSON EXHIBITION

雪村(せっそん)という画家の名前を聞いて、その絵をすぐにイメージできる人が、どれぐらいいるのでしょうか。もちろん、日本美術史の専門家や、古美術に詳しい人なら、いくつかの絵が思い浮かぶでしょう。おぼろげな人物像も、ご存じかもしれません。でも、はっきり言っておきます。この展覧会は、雪村の「せ」の字もご存じない人たちにこそ、見てもらいたい。ともかく、400年以上前に、こんなに面白い絵を描いて、それがたくさん伝えられているんだから、まずは見てみませんか——そんな気持ちで、企画しました。もちろん、よくご存じの方にも見てもらいたいのですが…。

雪村は、16世紀、京都を遠く離れた東国に住んでいました。生没年すらわかりませんが、1500年ごろに生まれて、茨城、福島を中心に、各地を転々としたようです。世はまさに戦国時代。80余歳まで長生きして、織田信長と同じころに亡くなったと思われます。

同時代の画家に比べて、雪村の絵は驚異的にたくさん残っています。現在、200点近くもあるでしょうか。京都の画家の絵は、その多くが戦乱で焼けてしまいました。雪村は田舎に住んで、名もない人々に与えたものも多かったのも、こんなに残ったかもしれません。この展覧会には、そのうち80点余を集めました。美術館や博物館からお借りした、すでに定評あるもの。熱心な個人所蔵家からお借りした、未公開のもの。さらに、アメリカの美術館に収蔵されているいくつかの大作も、久々に里帰りします。

風の中に立ちつくす仙人や羅漢の姿には、雪村の生き方が投影されているでしょう。めまいがするような山水の景観には、雪村の頭の中のビジョンが映し込まれているでしょう。好んで描いた野菜や果物は、きっと食べたに違いない…私はそんなふうに考えていますが、どうぞ、展覧会で絵そのものと対面して、みなさん、勝手にこの画家のことをイメージしてください。面白いと思いますよ。(本展監修者・明治学院大学教授 山下裕二)

宝塔を拜む観音



猫に薔薇



- 講演会
4月20日(土) 午後2時より 対談「雪村の夢・仙人の夢」
講師：南 伸坊(イラストレーター)VS 山下裕二(明治学院大学教授)
- ギャラリートーク
5月1日(水) 午後2時より 当館担当学芸員
- 美術映画会
4月28日(日) 2:00~3:00
「近代絵画とモダニズム ーマネからポロックまでー」
シリーズより「画家の技法」「印象派と後期印象派」
- 5月4日(土) 2:00~3:00
「京都の魅力 美のすべて」シリーズより「洛中」「東山」
- 美術相談
4月13日(土) 2:00~4:00
講師：内山懋(油彩)、舟橋淳司(水彩)
- 5月11日(土) 2:00~4:00
講師：遠藤原三(油彩)、栗田口博(水彩)

雪村展

会期中作品保全のため展示替を行いますのでご了承ください。

【次回展予告】
5月28日~7月7日
百面のかたち 橋岡一路 能面の心と技

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL03-3465-9421
JR渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
渋谷区立松濤美術館
The Shoto Museum of Art

